大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド

Aコース（ダイワ投資一任専用）／Bコース（ダイワ投資一任専用）

【運用報告書（全体版）】

（2025年６月17日から2026年６月15日まで）

第 10 期

決算日 2026年６月15日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

各ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2016年９月26日）
運用方針	外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Aコース（ダイワ投資一任専用）は以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド　ヘッジド・クラス 米国の株式等 原則として組入資産に対して対円で為替ヘッジを行います。 マネー・マネジメント・マザーファンド 本邦貨建て公社債および短期金融商品等 大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Bコース（ダイワ投資一任専用）は以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド　アンヘッジド・クラス 米国の株式等 原則として為替ヘッジは行いません。 マネー・マネジメント・マザーファンド 本邦貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	■当ファンドは、投資者と販売会社が締結する投資一任契約に基づいて、資産を管理する口座の資金を運用するためのファンドです。 ■米国株式を実質的な投資対象とし、コロンビア社の米国株リバーサル戦略により信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■「コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド」における株式の銘柄選択にあたっては、個別企業のファンダメンタルズを勘案したリバーサル（逆張り）戦略により行います。外国投資信託証券における株式の運用は、コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーが行います。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■毎年６月15日（休業日の場合翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配金額を決定します。 ■分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額な場合等には分配を行わないことがあります。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 （基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）

三井住友DSアセットマネジメント
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
https://www.smd-am.co.jp

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター　0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ａコース（ダイワ投資一任専用）

最近５期の運用実績

決算期	基準価額			（参考指数）S＆P500インデックス（配当込み）		公社債組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率		期中騰落率			
	円	円	％		％	％	％	百万円
６期（2022年６月15日）	15,466	0	△15.0	191.68	△10.9	0.0	97.3	1,530
７期（2023年６月15日）	17,430	0	12.7	228.26	19.1	0.0	97.4	1,993
８期（2024年６月17日）	20,785	0	19.2	287.87	26.1	0.0	97.4	2,636
９期（2025年６月16日）	21,305	0	2.5	321.01	11.5	0.0	97.7	2,934
10期（2026年６月15日）	24,980	0	17.2	403.95	25.8	0.0	97.8	3,753

※基準価額の騰落率は分配金込み。
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。
※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。
※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。
※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		（参考指数）S＆P500インデックス（配当込み）		公社債組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率		
（期首）	円	％		％	％	％
2025年６月16日	21,305	－	321.01	－	0.0	97.7
６月末	22,041	3.5	331.68	3.3	0.0	97.8
７月末	22,847	7.2	342.14	6.6	0.0	98.1
８月末	23,120	8.5	350.03	9.0	0.0	98.0
９月末	23,447	10.1	359.01	11.8	0.0	97.9
10月末	23,941	12.4	367.96	14.6	0.0	98.1
11月末	23,657	11.0	367.88	14.6	0.0	98.1
12月末	24,054	12.9	373.31	16.3	0.0	96.5
2026年１月末	23,935	12.3	377.05	17.5	0.0	97.9
２月末	23,456	10.1	374.19	16.6	0.0	97.8
３月末	21,663	1.7	343.99	7.2	0.0	97.7
４月末	24,185	13.5	387.21	20.6	0.0	97.8
５月末	25,423	19.3	410.87	28.0	0.0	98.1
（期末）						
2026年６月15日	24,980	17.2	403.95	25.8	0.0	97.8

※騰落率は期首比です。
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ｂコース（ダイワ投資一任専用）

最近５期の運用実績

決算期	基準価額			（参考指数）S＆P500インデックス（配当込み、円換算ベース）		公社債組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込分配金	期中騰落率		期中騰落率			
	円	円	％		％	％	％	百万円
６期（2022年６月15日）	22,137	0	3.8	256.87	9.2	0.0	97.6	1,983
７期（2023年６月15日）	26,811	0	21.1	318.07	23.8	0.0	97.7	3,009
８期（2024年６月17日）	38,052	0	41.9	450.11	41.5	0.0	97.4	6,687
９期（2025年６月16日）	37,383	0	△ 1.8	460.16	2.2	0.0	97.4	9,029
10期（2026年６月15日）	50,288	0	34.5	642.23	39.6	0.0	97.9	12,499

※基準価額の騰落率は分配金込み。
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。
※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。
※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。
※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		（参考指数）S＆P500インデックス（配当込み、円換算ベース）		公社債組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率		
（期首）	円	％		％	％	％
2025年６月16日	37,383	－	460.16	－	0.0	97.4
６月末	38,915	4.1	476.73	3.6	0.0	97.6
７月末	41,548	11.1	507.32	10.3	0.0	97.9
８月末	41,645	11.4	510.43	10.9	0.0	97.8
９月末	42,809	14.5	530.51	15.3	0.0	97.7
10月末	45,480	21.7	562.81	22.3	0.0	98.1
11月末	45,729	22.3	571.91	24.3	0.0	97.9
12月末	46,462	24.3	580.11	26.1	0.0	96.9
2026年１月末	45,499	21.7	575.06	25.0	0.0	97.6
２月末	45,594	22.0	578.68	25.8	0.0	97.8
３月末	43,191	15.5	545.88	18.6	0.0	97.8
４月末	48,510	29.8	616.43	34.0	0.0	98.0
５月末	50,810	35.9	650.00	41.3	0.0	98.0
（期末）						
2026年６月15日	50,288	34.5	642.23	39.6	0.0	97.9

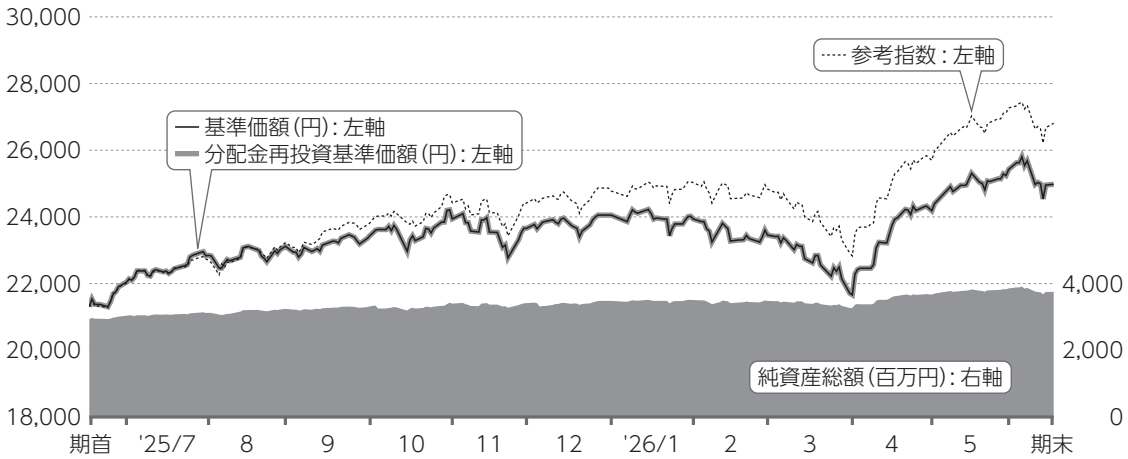
※騰落率は期首比です。
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2025年６月17日から2026年６月15日まで）

基準価額等の推移

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ａコース（ダイワ投資一任専用）



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期　首	21,305円
期　末	24,980円 （既払分配金0円（税引前））
騰 落 率	＋17.2% （分配金再投資ベース）

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金（税引前）を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。（以下、同じ）

※当ファンドの参考指数は、Ｓ＆Ｐ500インデックス（配当込み）です。
※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ｂコース（ダイワ投資一任専用）

※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期　首	37,383円
期　末	50,288円 （既払分配金0円（税引前））
騰 落 率	＋34.5% （分配金再投資ベース）

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金（税引前）を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。（以下、同じ）

※当ファンドの参考指数は、Ｓ＆Ｐ500インデックス（配当込み、円換算ベース）です。
※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因（2025年６月17日から2026年６月15日まで）

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ａコース（ダイワ投資一任専用）

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資しました。

上昇要因

●中東情勢の緊迫化に伴い一時的に調整する局面はみられたものの、米国の堅調な経済指標やＡＩ（人工知能）関連投資の拡大、企業業績の底堅さを背景に、期を通じてみると米国株が上昇したこと

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ｂコース（ダイワ投資一任専用）

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、米国株式へ投資しました。

上昇要因

●中東情勢の緊迫化に伴い一時的に調整する局面はみられたものの、米国の堅調な経済指標やＡＩ関連投資の拡大、企業業績の底堅さを背景に、期を通じてみると米国株が上昇したこと

●米金利の高止まりや中東情勢の緊迫化、日本の財政赤字拡大への懸念などを背景に、期を通じてみると米ドル高・円安となったこと

投資環境について（2025年６月17日から2026年６月15日まで）

米国株式市場は上昇しました。また、為替市場は米ドル高・円安となりました。

米国株式市場

米国株式市場は、期を通じてみると上昇しました。期前半は、米国の堅調な経済指標やＡＩ関連投資の拡大、企業業績の底堅さを背景に、上昇基調で推移しました。期後半にかけては、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇などが懸念され、一時的に調整しました。その後は、中東情勢の緩和期待や主要企業の好業績、ＡＩ関連を中心とした成長期待が再び高まり、上昇に転じて期を終えました。

為替市場

期を通じてみると米ドル／円は上昇し、米ドル高・円安となりました。

期前半は、米国の堅調な経済指標やＦＲＢ（米連邦準備制度理事会）高官によるタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的な発言を背景に米金利が高止まりする一方、日銀の利上げ観測も意識されたことから、一進一退の展開となりました。

期中には、日米通貨当局によるレートチェック（為替介入の準備として主要銀行に対し為替市場の状況を確認する行為）実施観測や、日本政府・日銀による為替介入への警戒感などから、米ドル安・円高に振れる局面もありましたが、日本の財政赤字拡大への懸念などを背景に、米ドル高・円安基調が続きました。

その後、期末にかけては日本政府・日銀による円買い介入とみられる動きなどから、一時的に円高が進みました。しかし、中東情勢の緊迫化に伴う有事の米ドル買いや原油価格の高止まりによる日本の貿易収支悪化懸念などから、再び米ドル買い・円売りが優勢となりました。

ポートフォリオについて（2025年６月17日から2026年６月15日まで）

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ａコース（ダイワ投資一任専用）

主要投資対象である「コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド　ヘッジド・クラス」を、期を通じて高位に組み入れました。

コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド　ヘッジド・クラス

当ファンドの運用戦略であるリバーサル戦略（ファンダメンタルズ分析および株価水準を考慮した逆張り投資）に基づき、株式ポートフォリオを運用しました。

期間における主な売買としては、テキサス・インスツルメンツ、マイクロン・テクノロジー、バークシャー・ハサウェイなどを購入する一方、ブラックロック、インテュイット、エレクトロニック・アーツなどを売却しました。

また、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しました。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ｂコース（ダイワ投資一任専用）

主要投資対象である「コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド　アンヘッジド・クラス」を、期を通じて高位に組み入れました。

コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド　アンヘッジド・クラス

当ファンドの運用戦略であるリバーサル戦略（ファンダメンタルズ分析および株価水準を考慮した逆張り投資）に基づき、株式ポートフォリオを運用しました。

期間における主な売買としては、テキサス・インスツルメンツ、マイクロン・テクノロジー、バークシャー・ハサウェイなどを購入する一方、ブラックロック、インテュイット、エレクトロニック・アーツなどを売却しました。

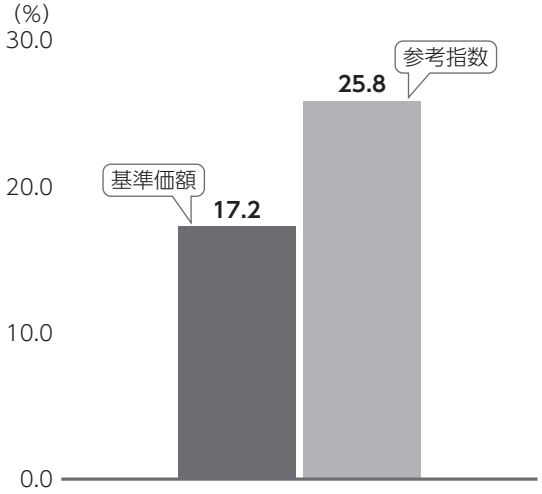
マネー・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存６ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

ベンチマークとの差異について（2025年６月17日から2026年６月15日まで）

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ａコース（ダイワ投資一任専用）

基準価額と参考指数の騰落率対比



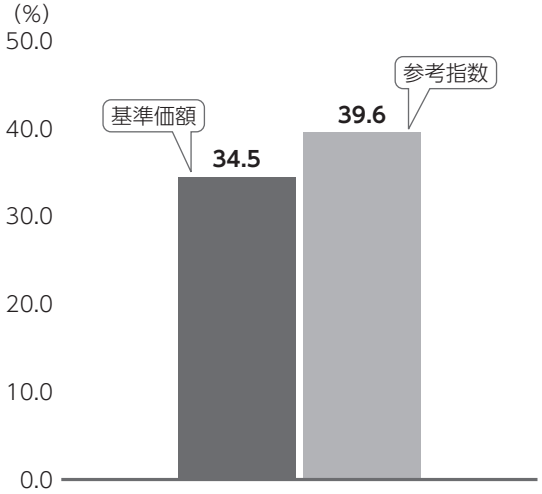
※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてＳ＆Ｐ500インデックス（配当込み）を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ｂコース（ダイワ投資一任専用）

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてＳ＆Ｐ500インデックス（配当込み、円換算ベース）を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について（2025年６月17日から2026年６月15日まで）

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ａコース（ダイワ投資一任専用）／Ｂコース（ダイワ投資一任専用）

（単位：円、１万口当たり、税引前）

項　目	第10期	
	Ａコース（ダイワ投資一任専用）	Ｂコース（ダイワ投資一任専用）
当期分配金	0	0
（対基準価額比率）	（0.00％）	（0.00％）
当期の収益	－	－
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	14,980	40,288

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ａコース（ダイワ投資一任専用）

引き続き、運用の基本方針に従い、「コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド　ヘッジド・クラス」への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド　ヘッジド・クラス

ポートフォリオの長期的な価値創造につながる可能性のある投資候補を発掘する際の出発点として、市場に広がる悲観論に着目しています。そうした悲観論により株価が下落している銘柄を調査対象とし、リバーサル（逆張り）の投資プロセスを一貫して実践しています。ボラティリティ（変動性）が高く、流動的な市場環境の中でリスクに留意しつつ、長期にわたり有効に機能してきたリバーサル戦略を継続して実行する方針です。

また、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ｂコース（ダイワ投資一任専用）

引き続き、運用の基本方針に従い、「コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド　アンヘッジド・クラス」への投資を通じて、米国株式へ投資することで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド　アンヘッジド・クラス

ポートフォリオの長期的な価値創造につながる可能性のある投資候補を発掘する際の出発点として、市場に広がる悲観論に着目しています。そうした悲観論により株価が下落している銘柄を調査対象とし、リバーサルの投資プロセスを一貫して実践しています。ボラティリティが高く、流動的な市場環境の中でリスクに留意しつつ、長期にわたり有効に機能してきたリバーサル戦略を継続して実行する方針です。

マネー・マネジメント・マザーファンド

当ファンドでは引き続き、安全性と流動性を最も重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については、２～４ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

3 お知らせ

約款変更について

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ａコース（ダイワ投資一任専用）／Ｂコース（ダイワ投資一任専用）

●「一般社団法人投資信託協会」を「一般社団法人資産運用業協会」へ名称を変更することとなったため、信託約款に所要の変更を行いました。（適用日：2026年４月１日）

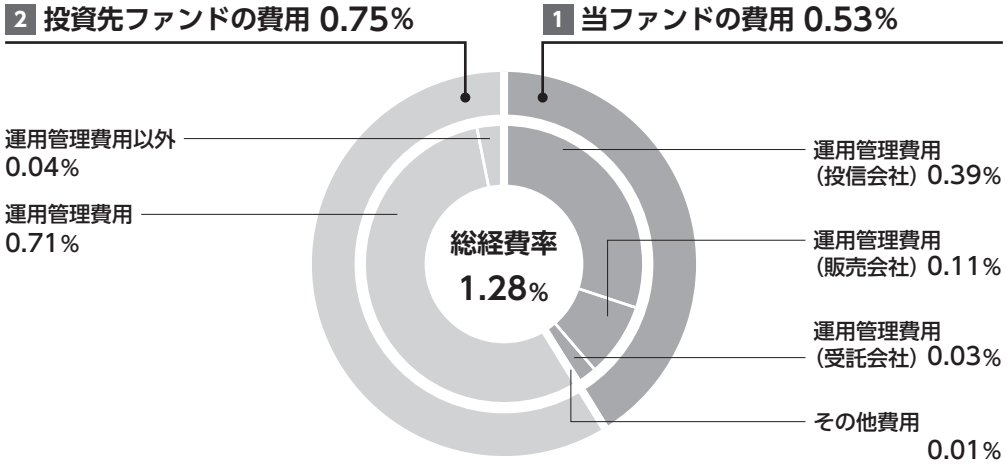
１万口当たりの費用明細（2025年６月17日から2026年６月15日まで）

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ａコース（ダイワ投資一任専用）

項　目	金額	比率	項目の概要
(a) 信　託　報　酬	122円	0.521%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 期中の平均基準価額は23,457円です。
(投　信　会　社)	(90)	(0.384)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販　売　会　社)	(26)	(0.110)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受　託　会　社)	(6)	(0.027)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株　　式)	(－)	(－)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株　　式)	(－)	(－)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公　社　債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.005	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保　管　費　用)	(－)	(－)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用
(監　査　費　用)	(1)	(0.005)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ　の　他)	(－)	(－)	そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
合　　計	123	0.526	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。
※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1＋2)		1.28%
1	当ファンドの費用の比率	0.53%
2	投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.71%
	投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

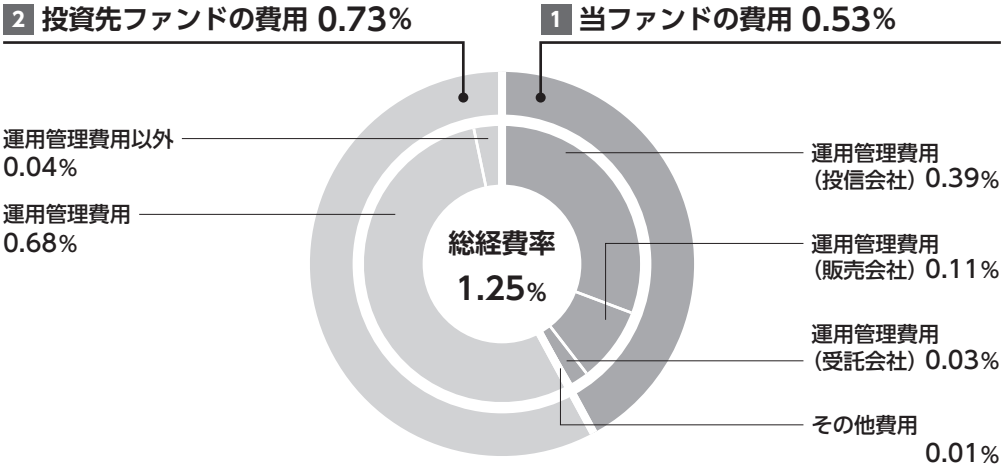
当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.28%です。

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Bコース（ダイワ投資一任専用）

項　目	金額	比率	項目の概要
(a) 信　託　報　酬	233円	0.521%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 期中の平均基準価額は44,640円です。 投信会社:ファンド運用の指図等の対価 販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(投　信　会　社)	(171)	(0.384)	
(販　売　会　社)	(49)	(0.110)	
(受　託　会　社)	(12)	(0.027)	
(b) 売買委託手数料	−	−	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株　　式)	(−)	(−)	
(先物・オプション)	(−)	(−)	
(投資信託証券)	(−)	(−)	
(c) 有価証券取引税	−	−	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株　　式)	(−)	(−)	
(公　社　債)	(−)	(−)	
(投資信託証券)	(−)	(−)	
(d) そ の 他 費 用	2	0.005	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
(保　管　費　用)	(−)	(−)	
(監　査　費　用)	(2)	(0.005)	
(そ　の　他)	(−)	(−)	
合　　計	235	0.526	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。
※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1＋2)		1.25%
1	当ファンドの費用の比率	0.53%
2	投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.68%
	投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.25%です。

当期中の売買及び取引の状況（2025年６月17日から2026年６月15日まで）

投資信託証券

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ａコース（ダイワ投資一任専用）

		買付		売付	
		口数	買付額	口数	売付額
		口	千円	口	千円
国内	コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド　ヘッジド・クラス	356,130,592	904,479	253,500,323	645,925

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ｂコース（ダイワ投資一任専用）

		買付		売付	
		口数	買付額	口数	売付額
		口	千円	口	千円
国内	コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド　アンヘッジド・クラス	455,325,298	2,242,982	405,440,837	1,963,705

※金額は受渡し代金。
※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

利害関係人との取引状況等（2025年６月17日から2026年６月15日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。
※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2025年６月17日から2026年６月15日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

組入れ資産の明細（2026年６月15日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ａコース（ダイワ投資一任専用）

ファンド名	期首(前期末)	期末		
	口数	口数	評価額	組入比率
	口	口	千円	%
コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド　ヘッジド・クラス	1,252,404,337	1,355,034,606	3,671,872	97.8
合計	1,252,404,337	1,355,034,606	3,671,872	97.8

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ｂコース（ダイワ投資一任専用）

ファンド名	期首(前期末)	期末		
	口数	口数	評価額	組入比率
	口	口	千円	%
コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド　アンヘッジド・クラス	2,168,978,626	2,218,863,087	12,242,798	97.9
合計	2,168,978,626	2,218,863,087	12,242,798	97.9

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ａコース（ダイワ投資一任専用）

種類	期首（前期末）	期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
マネー・マネジメント・マザーファンド	9	9	10

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ｂコース（ダイワ投資一任専用）

種類	期首（前期末）	期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
マネー・マネジメント・マザーファンド	9	9	10

※マネー・マネジメント・マザーファンドの期末の受益権総口数は2,973,510口です。

投資信託財産の構成

（2026年６月15日現在）

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ａコース（ダイワ投資一任専用）

項目	期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	3,671,872	97.0
マネー・マネジメント・マザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	112,223	3.0
投資信託財産総額	3,784,106	100.0

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ｂコース（ダイワ投資一任専用）

項目	期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	12,242,798	97.4
マネー・マネジメント・マザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	321,094	2.6
投資信託財産総額	12,563,903	100.0

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ａコース（ダイワ投資一任専用）

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2026年６月15日現在）

項目	期末
(A) 資産	**3,784,106,123円**
コール・ローン等	112,223,323
投資信託受益証券(評価額)	3,671,872,775
マネー・マネジメント・マザーファンド(評価額)	10,025
(B) 負債	**30,656,039**
未払金	16,023,580
未払解約金	5,270,586
未払信託報酬	9,194,955
その他未払費用	166,918
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	**3,753,450,084**
元本	1,502,555,209
次期繰越損益金	2,250,894,875
(D) 受益権総口数	**1,502,555,209口**
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	**24,980円**

※当期における期首元本額1,377,377,728円、期中追加設定元本額418,237,996円、期中一部解約元本額293,060,515円です。
※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第10号に規定する額（元本の欠損）となります。
※上記表中の受益権総口数および１万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第７号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

損益の状況

（自2025年６月17日　至2026年６月15日）

項目	当期
(A) 配当等収益	**459,187円**
受取利息	459,187
(B) 有価証券売買損益	**487,283,231**
売買益	542,181,675
売買損	△ 54,898,444
(C) 信託報酬等	**△ 17,803,816**
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	**469,938,602**
(E) 前期繰越損益金	**357,766,560**
(F) 追加信託差損益金	**1,423,189,713**
(配当等相当額)	(908,719,895)
(売買損益相当額)	(514,469,818)
(G) 合計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)	**2,250,894,875**
次期繰越損益金(Ｇ)	**2,250,894,875**
追加信託差損益金	1,423,189,713
(配当等相当額)	(908,719,895)
(売買損益相当額)	(514,469,818)
分配準備積立金	827,705,162

※**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
※株式投信の**信託報酬等**には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。
※**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	443,197円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	469,495,405
(c) 収益調整金	1,423,189,713
(d) 分配準備積立金	357,766,560
(e) 当期分配対象額(ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ)	2,250,894,875
１万口当たり当期分配対象額	14,980.45
(f) 分配金	0
１万口当たり分配金	0

分配金のお知らせ

	当期
１万口当たり分配金（税引前）	0円

大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Ｂコース（ダイワ投資一任専用）

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2026年６月15日現在）

項目	期末
(A) 資産	**12,563,903,951円**
コール・ローン等	321,094,958
投資信託受益証券(評価額)	12,242,798,968
マネー・マネジメント・マザーファンド(評価額)	10,025
(B) 負債	**64,361,040**
未払金	34,198,831
未払信託報酬	29,630,151
その他未払費用	532,058
(C) 純資産総額(A－B)	**12,499,542,911**
元本	2,485,569,371
次期繰越損益金	10,013,973,540
(D) 受益権総口数	**2,485,569,371口**
1万口当たり基準価額(C／D)	**50,288円**

※当期における期首元本額2,415,319,711円、期中追加設定元本額598,723,108円、期中一部解約元本額528,473,448円です。
※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第10号に規定する額（元本の欠損）となります。
※上記表中の受益権総口数および１万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第７号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

損益の状況

（自2025年６月17日　至2026年６月15日）

項目	当期
(A) 配当等収益	**1,456,169円**
受取利息	1,456,169
(B) 有価証券売買損益	**2,853,848,035**
売買益	3,156,349,576
売買損	△ 302,501,541
(C) 信託報酬等	**△ 56,711,658**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**2,798,592,546**
(E) 前期繰越損益金	**1,081,164,419**
(F) 追加信託差損益金	**6,134,216,575**
(配当等相当額)	(3,454,887,122)
(売買損益相当額)	(2,679,329,453)
(G) 合計(D＋E＋F)	**10,013,973,540**
次期繰越損益金(G)	**10,013,973,540**
追加信託差損益金	6,134,216,575
(配当等相当額)	(3,454,887,122)
(売買損益相当額)	(2,679,329,453)
分配準備積立金	3,879,756,965

※**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
※株式投信の**信託報酬等**には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。
※**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,427,846円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,713,717,404
(c) 収益調整金	6,134,216,575
(d) 分配準備積立金	1,164,611,715
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	10,013,973,540
１万口当たり当期分配対象額	40,288.45
(f) 分配金	0
１万口当たり分配金	0

分配金のお知らせ

	当期
１万口当たり分配金（税引前）	0円

各ファンドとも、上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第１項各号に該当する事項はありません。

組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド　ヘッジド・クラス／アンヘッジド・クラス
形態	ケイマン籍契約型投資信託（円建て）
主要投資対象	米国の株式等を主要投資対象とします。
運用の基本方針	●主として米国の株式等に投資することで、中長期的な信託財産の成長を目指します。 ・株式等の投資にあたっては、厳格なファンダメンタルズ分析および株価水準を考慮した逆張り戦略により、安定した超過収益の獲得を目指します。 ・株式等の運用は、コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーが行います。 ●ヘッジド・クラスでは、原則として組入資産に対して対円で為替ヘッジを行います。アンヘッジド・クラスでは、原則として為替ヘッジは行いません。 ●資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。
主な投資制限	●株式等への投資割合には、制限を設けません。 ●日本の資産運用業協会の規則に従って計算される、同一発行体に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーは、原則として、それぞれ純資産総額の10％以内、合計で純資産総額の20％以内とします。 ●デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
分配方針	原則として分配は行いません。
申込手数料	ありません。
運用管理費用	純資産総額に対して 管理報酬等：年0.06％ 運用報酬：年0.40％ 保管会社報酬：年0.01％（最低年12,000米ドル） ※上記のほか、受託会社報酬（年20,000米ドル）、管理事務費用（年85,000米ドル程度）および名義書換事務代行費用（年8,400米ドル）などがかかりますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率等を示すことができません。 また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回ることがあります。
その他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
投資顧問会社	コロンビア・マネジメント・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド　ヘッジド・クラス／アンヘッジド・クラス」をシェアクラスとして含む「コロンビア・ＵＳコントラリアン・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

包括利益計算書　2025年9月30日に終了した期間

（単位：日本円）

収益	
受取配当金	118,073,897
受取利息	7,175,286
外国為替の損益	23,489,254
損益を通じて公正価値で測定される金融資産負債のその他純変動	1,990,456,782
投資純損益	2,139,195,219
費用	
受託会社報酬及び管理事務代行会社費用	2,967,330
副管理事務代行会社費用	15,339,531
カストディーフィー	9,978,227
投資運用報酬	46,732,598
管理報酬	7,048,858
取引費用	2,996,563
スワップ関連費用	172,067
コラテラル・エージェント・フィー	1,005,864
その他費用	4,843,331
費用計	91,084,369
税引前損益	2,048,110,850
源泉税	(35,128,679)
受益者に帰属する純資産の増減額	2,012,982,171

組入上位銘柄

(基準日：2025年９月30日)

	銘柄名	業種	組入比率
1	NVIDIA Corporation	情報技術	8.5%
2	Microsoft Corporation	情報技術	8.2%
3	Apple Inc.	情報技術	6.4%
4	Amazon.com, Inc.	一般消費財・サービス	4.9%
5	Meta Platforms Inc Class A	コミュニケーション・サービス	3.4%
6	Alphabet Inc. Class A	コミュニケーション・サービス	3.0%
7	Broadcom Inc.	情報技術	2.7%
8	Alphabet Inc. Class C	コミュニケーション・サービス	2.6%
9	JPMorgan Chase & Co.	金融	2.4%
10	Bank of America Corp	金融	2.1%
	全銘柄数	77銘柄	

※比率はポートフォリオに対する割合です。

マネー・マネジメント・マザーファンド

第12期（2024年７月26日から2025年７月25日まで）

信託期間	無期限（設定日：2013年６月３日）
運用方針	■本邦通貨建て公社債および短期金融商品等に投資を行い、利息等収入の確保を図ります。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

最近５期の運用実績

決算期	基準価額		公社債組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
８期（2021年７月26日）	9,972	△0.1	62.4	27
９期（2022年７月25日）	9,967	△0.1	80.9	17
10期（2023年７月25日）	9,960	△0.1	70.9	7
11期（2024年７月25日）	9,957	△0.0	75.7	5
12期（2025年７月25日）	9,984	0.3	67.3	2

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
（期首）2024年７月25日	9,957	－	75.7
７月末	9,957	0.0	56.8
８月末	9,956	△0.0	75.7
９月末	9,960	0.0	75.7
10月末	9,960	0.0	93.7
11月末	9,960	0.0	67.5
12月末	9,962	0.1	67.4
2025年１月末	9,964	0.1	67.4
２月末	9,966	0.1	67.4
３月末	9,970	0.1	67.3
４月末	9,975	0.2	67.3
５月末	9,978	0.2	67.3
６月末	9,981	0.2	67.3
（期末）2025年７月25日	9,984	0.3	67.3

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2024年７月26日から2025年７月25日まで）

基準価額等の推移

期　　首	9,957円
期　　末	9,984円
騰 落 率	＋0.3％

▶ 基準価額の主な変動要因（2024年７月26日から2025年７月25日まで）

当ファンドは、本邦通貨建ての公社債および短期金融商品等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いました。

上昇要因	・日銀が2025年１月に追加利上げを行ったことを受け、短期公社債や短期金融商品の利回りが上昇し、利子等の収益を確保したこと

▶ 投資環境について（2024年７月26日から2025年７月25日まで）

国内短期金融市場は下落しました。

７月末に日本銀行は日銀当座預金付利金利を0.25％へ引き上げ、無担保コール翌日金利を0.25％程度で推移するよう促すことを決定しました。８月に入ると円高や株安が進んだことでリスク回避の動きが強まり、国内金利は急低下しました。10月以降は米大統領選を受けた米国金利の上昇や日銀のタカ派姿勢を背景に、国内金利は上昇に転じました。2025年１月には日本銀行が無担保コール翌日金利の誘導目標を0.5％程度へ引き上げ、金利の上昇が続きました。４月以降は米国の関税措置や中東情勢の緊迫化が金利低下要因となったものの、関税交渉の進展や財政悪化懸念等を背景に、期末にかけて国内金利は上昇基調で推移しました。
国庫短期証券３ヵ月物利回りは、一時マイナス圏まで低下する局面もあったものの、10月下旬以降は上昇基調で推移しました。

▶ ポートフォリオについて（2024年７月26日から2025年７月25日まで）

安全性と流動性を考慮し、短期国債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存６ヵ月以内の短期国債を中心とした運用を継続しました。

▶ ベンチマークとの差異について（2024年７月26日から2025年７月25日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

国内景気は米国の関税措置による下押し圧力がかかるものの、賃金上昇による消費の下支えや企業の設備投資需要の下、先行きは成長軌道に戻る見通しです。ＣＰＩコア（生鮮食品除く消費者物価指数）の前年比伸び率は、コストプッシュ圧力の減衰が見込まれる一方で賃金上昇に伴いサービス価格が上昇することにより、教育無償化の拡充による一時的な下押しの影響を除けば、＋２％程度の伸び率を維持できる見通しです。米国の政策運営やグローバル景気の先行きに対する不確実性が高いことは、金利の低下要因です。一方で、日銀は足元では様子見姿勢を続けているものの、不確実性の低下に伴い先行きは利上げ姿勢に戻ることが見込まれます。金利先高観の継続で国内金利は低下方向には進みにくく、米国と各国の貿易交渉が進む際には上昇圧力がかかる見通しです。
当ファンドでは引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。ファンドの平均残存年限については、２～４ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

1万口当たりの費用明細（2024年７月26日から2025年７月25日まで）

当期中における記載すべき項目はありません。

当期中の売買及び取引の状況（2024年７月26日から2025年７月25日まで）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	1,996	－
	特殊債券	1,000	1,999 (3,000)

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）
※（　）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

利害関係人との取引状況等（2024年７月26日から2025年７月25日まで）

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	2	1	33.4	1	－	－

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、ＳＭＢＣ日興証券株式会社です。

第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2024年７月26日から2025年７月25日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

組入れ資産の明細（2025年７月25日現在）

公社債

Ａ　債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区分	期末 額面金額	評価額	組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率 ５年以上	２年以上	２年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	2,000 (2,000)	1,999 (1,999)	67.3 (67.3)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	67.3 (67.3)
合計	2,000 (2,000)	1,999 (1,999)	67.3 (67.3)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	67.3 (67.3)

※（　）内は非上場債で内書きです。
※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

Ｂ　個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

種類	銘柄	期末 利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	1251国庫短期証券	－	1,000	999	2025/08/20
	1291国庫短期証券	－	1,000	999	2025/09/10
小計		－	2,000	1,999	－
合計		－	2,000	1,999	－

投資信託財産の構成

（2025年７月25日現在）

項目	期末 評価額	期末 比率
	千円	%
公社債	1,999	67.3
コール・ローン等、その他	972	32.7
投資信託財産総額	2,971	100.0

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2025年７月25日現在）

項目	期末
(A) 資産	**2,971,873円**
コール・ローン等	972,636
公社債(評価額)	1,999,237
(B) 純資産総額(A)	**2,971,873**
元本	2,976,708
次期繰越損益金	△ 4,835
(C) 受益権総口数	**2,976,708口**
1万口当たり基準価額(B／C)	**9,984円**

※当期における期首元本額5,311,622円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額2,334,914円です。
※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第10号に規定する額（元本の欠損）となります。
※期末における元本の内訳は以下の通りです。

タフ・アメリカ（マネープールファンド）	947,933円
日本株アルファ・カルテット（毎月分配型）	1,998,801円
日本株アルファ・カルテット（年２回決算型）	9,990円
大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Aコース（ダイワ投資一任専用）	9,992円
大和住銀／コロンビア米国株リバーサル戦略ファンド　Bコース（ダイワ投資一任専用）	9,992円

※上記表中の受益権総口数および１万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の６第７号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

損益の状況

（自2024年７月26日　至2025年７月25日）

項目	当期
(A) 配当等収益	**13,252円**
受取利息	13,252
(B) 有価証券売買損益	**△ 4,669**
売買益	817
売買損	△ 5,486
(C) 当期損益金(A＋B)	**8,583**
(D) 前期繰越損益金	**△22,892**
(E) 解約差損益金	**9,474**
(F) 合計(C＋D＋E)	**△ 4,835**
次期繰越損益金(F)	**△ 4,835**

※**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
※**解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

お知らせ

＜約款変更について＞

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。（適用日：2025年４月１日）